

『田んぼの生き物調べ』

R1 年度

富山市立水橋東部小学校

●実施状況

水橋東部小学校の児童(4年生)が、富山市水橋伊勢領地内の農業用排水路にて、水質調査及び田んぼの生き物調べを実施しました。まずは小学校の体育館内にて、田んぼの役割や生き物についての説明を受けた後、予定していた水路へ移動しました。生き物捕獲の時間になると、はじめは恐る恐る水路へと網を入れていたものの、いざ生き物を捕まえると歓声を上げながら夢中になっている様子でした。捕獲した生き物について地域環境資源センター職員より説明を受け、新しい発見もあったようです。

今回の活動を通して、生き物のすみかである田んぼや水路を守るために何をしなければいけないか、児童一人一人が考えるきっかけになったのではないかと感じました。

場 所 : 富山市水橋伊勢領地内
(農業用排水路)

実 施 日 : 令和元年6月28日(金曜日)

参 加 者 : 富山市立水橋東部小学校4年生13人
下条用土地改良区職員2人
地元関係者3人
地域環境資源センター職員3人
北陸農政局西北陸事務所職員3人
市町村、県職員8人

計32人

活動内容: ・捕獲調査
・観測及び記録
・捕獲生物の説明
・農業用施設等の役割説明

捕獲生物: ドジョウ、アブラハヤ、タモロコ、
トノサマガエル、ガムシほか



●参加児童の感想

<4年生女子児童>

生き物を触ることが苦手で最初はぜんぜん触れなかったけど、やっていくうちに触れるようになりました。

<4年生男子児童>

こんな身近な生き物が絶滅危惧種だと知りとてもおどろきました。生き物が少なくなってしまう環境を大切に守りたいです。

<4年生男子児童>

よく家の用水で生き物を捕まえているけど、こんなにも捕まえたことがなかったのでうれしかったです。